

奥州市民の快適で安全安心な暮らしを支える道づくり

◆計画の概要

計画の目標

・奥州市民の快適で安全安心な暮らしを確保するため、市内の生活に密着した道路の拡幅、補修、橋梁架替等を行う。

成果目標

1. 主要な公共施設等への到達時間の短縮を図る。
(走行時間短縮率) = (1 - (事業後走行時間) / (事業前走行時間)) × 100

H22当初 0% → H26末 14.3%

2. 計画により新たに歩道整備をする路線数を増加させる。

H22当初 5路線 → H26末 11路線

3. 道路機能の保全を行う必要がある箇所に対する改善整備の実施。

(改善整備率) = (改善整備済延長 / 要改善計画延長) × 100

H22当初 0% → H26末 100%

事業内容

・舗装新設事業、舗装修繕事業、現道拡幅事業、歩道整備事業、雪寒対策事業、除雪対策事業の実施。

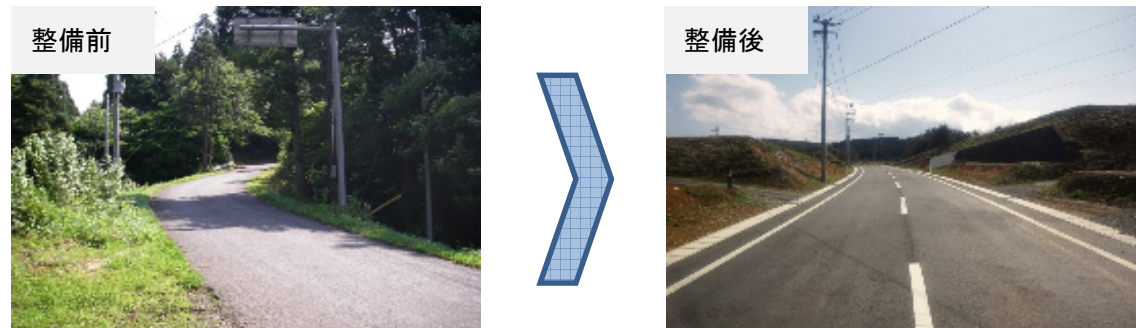
◆事後評価の結果

【事業実績】

・20事業に対し、舗装新設事業、舗装修繕事業、現道拡幅事業、歩道整備事業、雪寒対策事業、除雪対策事業を行った。

【事業例】

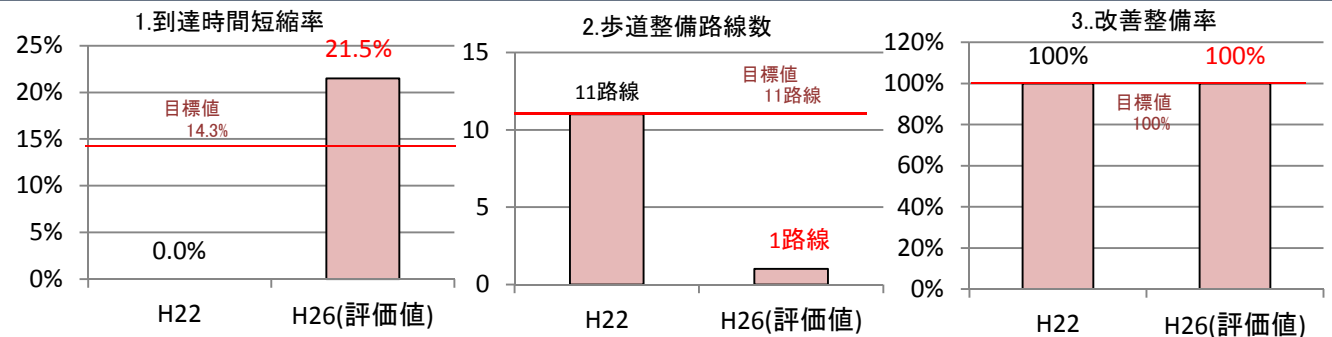
・急勾配箇所及び隘路区間の解消を目的とした道路改良事業(簾森大袋古戸線)



・安全な道路環境となり、通学バスの運行や隣接する一般処理最終処分場への大型車の運行が可能となった。

【成果目標の達成状況】

・計画的に事業を行い、時間短縮率と改善整備率は、目的の指標を達成した。
・歩道整備路線数については、H25年に防災・安全事業の計画に事業を移行したことにより当初の設定指標をそのまま共通指標としたことから目標値を下回っているものである。



◆今後の方針

・引き続き事業を継続していくことで、道路施設の老朽化対策や道路拡幅事業により事業効果の発現ができるよう道路の安全性を確保し、市民の快適で安全安心な暮らしを確保していく。